

スズキ、インド・ハンサルプール D 工場で生産開始



スズキ株式会社(以下、スズキ)のインド四輪子会社マルチ・スズキ・インディア社は、2026 年 7 月 30 日よりグジャラート州のハンサルプール工場四番目となる D 工場（生産能力 25 万台／年）での生産を開始しました。D 工場では、バッテリーEV の「e ビターラ」を生産します。ハンサルプール工場は 2017 年 2 月に A 工場での生産を開始後、順次能力増強を行い、今回 D 工場が稼働したことにより、生産能力は 100 万台／年となりました。単一拠点の生産能力が 100 万台／年に達するのは、スズキとして初となります。

現在、スズキはインドでハリヤナ州にグルガオン工場、マネサール工場、カルコダ工場、グジャラート州にハンサルプール工場を展開しており、今回のハンサルプール D 工場の稼働開始により、インド国内の生産能力は 290 万台／年となります。

そのほか、グジャラート州で 2 拠点目となるサナンドでの新工場建設について 2024 年 1 月に同州政府と基本合意し、2029 年までに生産能力 25 万台／年となる第一ラインの稼働開始を目指しています。スズキは引き続きインドでの生産能力増強を進め、2030 年代の年間 400 万台体制の確立を目指してまいります。

○ ハンサルプール工場概要

	A 工場	B 工場	C 工場	D 工場
所在地	グジャラート州 ハンサルプール			
生産能力／年	25 万台	25 万台	25 万台	25 万台
稼働開始	2017 年 2 月	2019 年 1 月	2021 年 4 月	2026 年 7 月
生産車種	バレーノ	フロンクス スイフト	フロンクス e ビターラ	e ビターラ

以上